

教科	理科	科目	物理基礎	開講学期	後期	単位数	2	試験	後期
タイプ	Ⅲ	レポート数	6	スクーリング必要時数		8	スクーリング実施時数		13

教科書(発行者)	改訂 新編物理基礎(東京書籍)
補助教材(発行者)	物理基礎 学習書(NHK出版)

科目の目標	物体の運動と様々なエネルギーに関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しを持って観察、実験を行うことなどを通して、物体の運動と様々なエネルギーを科学的に探究するために必要な資質や能力を育成することを目指す。		
	1 知識及び技能	2 思考、判断、表現等	3 学びに向かう力、人間性等
	自然の事物・現象に対する概念や原理・法則を理解し、知識を身に付ける。観察や実験などを行い、基本操作を習得するとともに、それらの過程や結果を的確に記録、整理し、自然の事物・現象を科学的に探究する技能を身に付ける。	自然の事物・現象の中に、見通しをもって課題や仮説を設定し、観察、実験などを行い、得られた結果を分析して解釈し、根拠をもとに導きだした考えを表現観察、実験などを行い、科学的に探究する力を表現する。	自然の事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする。探究の過程などを通して獲得した知識・技能や思考力・判断力・表現力を日常生活や社会に生かそうとする。

評価の観点及びその趣旨	1 知識・技能			2 思考・判断・表現			3 主体的に学習に取り組む態度		
	自然の事物・現象に対する概念や原理・法則を理解し、知識を身に付けている。観察や実験などを行い、基本操作を習得するとともに、それらの過程や結果を的確に記録、整理し、自然の事物・現象を科学的に探究する技能を身に付けている。			自然の事物・現象の中に、見通しをもって課題や仮説を設定し、観察、実験などを行い、得られた結果を分析して解釈し、根拠をもとに導きだした考えを表現観察、実験などを行い、科学的に探究する力を表現することができる。			自然の事物・現象に主体的に関わり、それらを科学的に探究しようとしている。探究の過程などを通して獲得した知識・技能や思考力・判断力・表現力を日常生活や社会に生かそうとしている。		

単位認定	全レポートの合格、スクーリングの必要時数以上の出席及び定期試験合格(30点以上)で単位を認定する。
評価の方法	評価はレポート、スクーリング及び試験により総合的に行う。

学期	レポート	学習内容	スクーリング	試験
後期	第1回	物体の運動とエネルギー	第1・2回	後期
	第2回	物体の運動とエネルギー	第3・4回	
	第3回	力学的エネルギー	第5・6回	
	第4回	熱 波	第7・8回	
	第5回	波 電気	第9・10回	
	第6回	電気 エネルギーとその利用	第11・12・13回	